

I 学習にあたって

この小冊子は、本学部におけるカリキュラムと各科目の内容を示した案内書である。
本学部では1年間を前期・後期の2期に分けて授業をおこなっている。各学科での必修科目、
免許、資格に必要な単位をカリキュラムに基づいて取得しなければならない。
単位認定のためには：①受講科目の登録
②授業出席、課題提出（レポート、作品等）
③期末試験合格

上記3つが必要である。以下の諸事項と「キャンパスライフ X. 学習の手引き」をよく読み、卒業や資格に必要な単位を取りこぼすことのないように注意されたい。

① 各期のはじめに受講科目を登録する。

所定の用紙に、必修科目・選択科目を記入し、指定の期日までに教務課に提出する。登録期日に遅れたり、忘れたりすると受講出来ないので充分注意すること。あらかじめおこなわれるガイダンスを参考にして、間違いの無いように登録する。原則として各自の所属する学科・学年に開講されている科目を登録し受講する。

選択科目については、4年間の開講予定を参考にして卒業までの勉学の方向を定めるとよい。余裕を持って多めに受講しておき、卒業時に必要な総単位数が不足しないように注意する。

② 授業に出席する。

規定回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格、作品・レポートの提出資格を失う。

③ 期末試験、作品、レポートについて合格点をとる。

以上3点が満たされたとき、単位が認定される。なお、各期始めのオリエンテーションで成績を本人に提示するので、必ず取得単位数を基礎・専門科目別・必修・選択別に確認する。

教務委員会

Ⅱ 家政学部で何を学ぶか

家政学部長

〔家政学部の概要〕

家政学部は生活者の視点から科学という公正さをもって生活を研究する学問分野です。「生活科学」「食物・栄養学」「被服学」「住居学」「児童学」の五つの分野に大別される家政学部の学問は、家庭生活の衣・食・住すべてと密接に関わり、身近な生活環境の向上を目指し、ライフスタイルをデザインできる人材を育成すると同時に、広く社会全体の人間生活の進歩・発展に寄与しています。

〔教育目標〕

本家政学部は「ライフスタイル学科」「管理栄養学科」「こどもの生活学科」の3学科からなり、以下のように学部共通および学科ごとの教育目標を定め教育をします。

「家政学部」

教育目標は「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成することです。

「ライフスタイル学科」

教育目標は、家政学部の教育目標の下、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成することです。

「管理栄養学科」

教育目標は、家政学部の教育目標の下、管理栄養士の資格を生かして、チーム医療、健康増進・疾病予防、食育・栄養指導又は健康をテーマにした食品の研究・開発等で活躍することによって、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成することです。

「こどもの生活学科」

教育目標は、家政学部の教育目標の下、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、こどもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成することです。

〔卒業時の到達目標〕

「ライフスタイル学科」

- ① 四大精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる。
- ② ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付け、地域再生に貢献することができる。
- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。

「管理栄養学科」

- ① 四大精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができる。
- ② 管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することができる。

- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。

「こどもの生活学科」

- ① 四大精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得している。
- ② 現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができる。
- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

〔卒業後の進路〕

「ライフスタイル学科」

多彩なビジネスフィールドで専門性を活かしたスペシャリストへの進路を開きます。専門科目の空間・情報デザイン、食開発・マネジメント、ビジネス・地域活性の専門科目を学び、さらに専門性を体験型科目で修得することにより、インテリア、アパレル、ファッション、デザイン・IT関連、ブライダル、食品・外食産業、公務員、家庭科教諭への道を選択することができます。また、取得可能な資格は①中学校教諭一種免許状(家庭)②高等学校教諭一種免許状(家庭)③フードスペシャリスト④商品プランナー⑤スポーツインストラクター⑥商品装飾展示士3級です。

「管理栄養学科」

病気の回復や健康づくりをサポートできる栄養と食のプロとして多方面で活躍する管理栄養士の道が開かれます。管理栄養士に必要な専門知識と技能を学び、さらに専門実践活動として疾病治療・重症化予防、疾病予防、食育・食環境科目を修得することにより、病院、福祉施設、委託給食会社、健康管理クリニック、薬局、スポーツジム、栄養教諭、食品関連会社への道を選択することができます。また、取得可能な資格は①管理栄養士国家試験受験資格②栄養士免許③栄養教諭一種免許状④食品衛生監視員任用資格⑤食品衛生管理者任用資格⑥健康運動実践指導者認定試験受験資格⑦商品プランナー認定試験受験資格です。

「こどもの生活学科」

0歳から18歳の子どもの成長や発達、社会環境の変化へ対応できる教育者や保育者の道が開かれます。小学校教諭・幼稚園教諭免許および保育士資格を取得することにより、現代の教育現場で活躍できる小学校教諭・柔軟な対応力を備えた幼稚園教諭・保育士への道を選択することができます。また、取得可能な資格は①小学校教諭一種免許状②幼稚園教諭一種免許状③保育士資格です。

〔ビジョン達成の汎用力を育む〕

社会が抱える多くの課題を解決するための専門的な知識・技術を獲得・活用して問題解決する力を「pisa型学力」より鍛え上げましょう。ビジョン達成のための人間力は、四大精神の実践を通して目標に向う継続的な努力、何事にも真心を持ち、奉仕の心で取り組み、そして感謝する心を培います。さらに、自己ビジョンを達成するに必要な不得意・得意・未知への挑戦は「社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)」を学修・大学生活・就職活動の場面で常に活用します。

皆さんが踏み出す4年後の社会は、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会「Society 5.0」が進んでいると考えられます。その時代の中で、生命活動で根付いた日本の歴史、文化、風土を家政学の観点から自然科学・人文科学・社会科学に探究することが重要な時代となります。また、グローバル化が進む中で、国際交流のイベントを通して、海外の人々とも交流を持ち、多くの人たちと知り合い、語り合い、共に体験することで様々な価値観や生き方、考え方に触れましょう。そして、個人として自立するという意志、生きる力を養い、生きるという歓びに満ち溢れた人生を構築する礎となるよう数多く挑戦する4年間にしましょう。

Ⅲ 社会人基礎力について

愛知学泉大学学長

愛知学泉大学は基礎学力・専門知識と共に「社会人基礎力」を育成します。

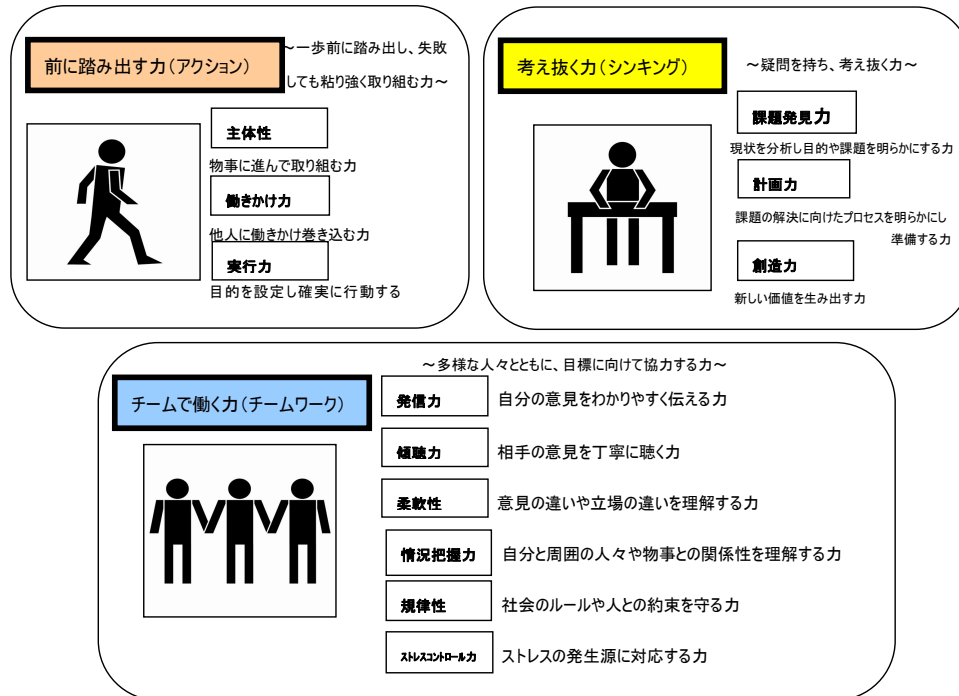
本学では各科目のシラバスに「発揮する能力要素」を記載しています。これは『社会人基礎力』の「能力要素」のことです。先ず『社会人基礎力』について説明しましょう。

社会人基礎力とは

『社会人基礎力』とは、経済産業省が提言する「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていくうえで社会人として必要な基礎的能力」です。

この能力は社会人として、人間として自分を活かして生きるために必要な能力でもあります。したがって、本学では『社会人基礎力』を“学ぶ”ための行動目標と位置づけ、教える人も学ぶ人も共にこの『社会人基礎力』を意識し、また発揮して学びを深めるものです。それは、学びながら社会人としての力をつけることができます。

社会人基礎力は 3つの能力 / 12の能力要素 を基本とします。



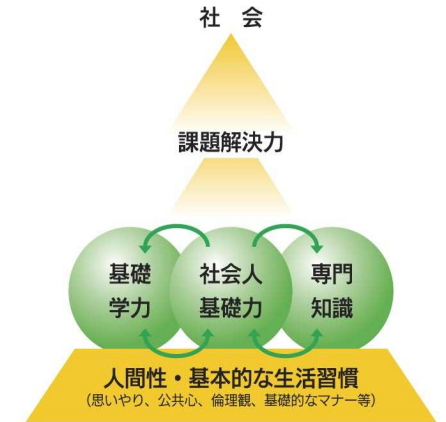
各科目における社会人基礎力の育成

右図のように人間性・基本的な生活習慣の上に「基礎学力」「専門知識」「社会人基礎力」が兼ね備わると「課題解決力」となり現代社会で活躍できる基盤を形成できます。

そこで本学では、「社会人基礎力」を各科目においても能力を発揮し高めることができるように各先生方にも授業を展開していただきます。

つまり、本学の皆さんはその科目を履修することにより自ずと「社会人基礎力」の何がしかの能力を高めていけることになります。もちろん、積極的に参加し、発揮しなくては高めることは出来ません。

シラバスにおける「発揮する能力要素」とはその科目で育成する「社会人基礎力の能力要素」です。



冊子「無限の可能性への道 ～社会人基礎力を育む学泉ノート～」の活用

配布された冊子を熟読して社会人基礎力に関する知識を高めるとともに、その重要性を認識し、社会人基礎力の育成に努めましょう。

こどもの生活学科 社会人基礎力の年次ごとの目標													
ビジョン達成の社会人基礎力発揮の年次		前に踏み出す力			考え抜く力			チームで働く力					
学年	学期	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1年	前期	2	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	1
	後期	3	2	3	2	2	2	3	3	2	2	2	2
2年	前期	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3
	後期	4	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3
3年	前期	4	3	3	4	3	4	4	4	3	4	3	3
	後期	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4年	通年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

レベル0～レベル4で配当

Ⅳ こどもの生活学科

こどもの生活学科長

現代は、経済や政治などの社会的変化によって大きく左右される時代である。そしてその生活は、便利さや豊かさが増す反面、不安や危険も増大している。そのため、安心安全に生活することのできる「生活を基盤とした文化や社会の再生（生活世界の再生）」が重要な課題となってきた。

こどもの生活学科の目標は、「生活世界の再生」をテーマに、子どもたちの健全な成長や発達を促す生活様式や、保育・教育にまつわる学修を通して、「生きる歓び」と「生きる力」を修得した保育者・教育者を育成することである。生きる歓びを創生する能力である「生活力」、家庭や地域の生活基盤を構築する能力である「社会力」、新たな生活を工夫し展開する能力である「文化力」のそれぞれの能力を有した上で、専門性を兼ね備えた保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を養成することを目指している。

そのためのカリキュラム構成として、まず「幼保領域」と「小学校領域」とに区分し、幼児教育を理解した小学校教諭および小学校教育を理解した保育者という学科の特色を活かした養成プログラムに加え、創造性を豊かにする「文化力」の育成のために「ライフ開拓領域」を設定し、それぞれの領域を相互にクロスオーバーしながら、資格・免許を取得することを前提に、下記の教育プログラムに基づいたカリキュラムを編成している。

【教育プログラム】

- ①現代生活に関する基礎的な教育プログラム（家政学部共通科目）
- ②生活力・文化力・社会力の形成のための教育プログラム（学科専門科目）
 - 1) 文化力育成を主眼とした「ライフ開拓領域」
 - 2) 生活力・社会力育成を主眼とした「コア科目」群
- ③保育及び初等教育に関する専門的な職業能力養成教育プログラム
 - 1) 幼児教育を主眼とした「幼保領域」
 - 2) 小学校教育を主眼とした「小学校領域」
 - 3) 資格取得に必要な「実習領域」

【取得資格・免許】

保育士資格
幼稚園教諭一種免許
小学校教諭一種免許
スポーツインストラクター資格
色彩検定

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考	保育士	幼稚園一種	小学校一種	スポーツ ラケット イン
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習					
学部 共通科目	教養分野	潜在能力の開発	1前	2		○							
		心理学	1前	2		○							
		人間関係とコミュニケーション	2前	2		○							
		社会学	3後	2		○							
		生活経済論	1後	2		○							
		日本国憲法	3前	2		○				○	○	○	
		生活学概論	1後	2		○				○			
		家族論	3前	2		○				○			
		情報リテラシーⅠ	1前	1			○			○	○	○	
		情報リテラシーⅡ	1後	1			○			○	○	○	
		数理データサイエンス AIリテラシー	1前	2			○						
		未来へつながぐアウトリーチスタートアップ	1前	1		○							
		未来へつながぐアウトリーチⅠ	1前	1				○					
		未来へつながぐアウトリーチⅡ	2前	1				○					
		小計（14科目）	—	12	11	0	—		—				
	保健体育分野	運動の科学	1前	2		○				○	○	○	○
		体育実技	1後	1				○		○	○	○	○
		小計（2科目）	—	0	3	0	—		—				
	外国語分野	英語	1前	1			○		外国語分野から2単位以上必修	□	□	□	
		英会話	1後	1			○			□	□	□	
		中国語	2前	1			○			□	□	□	
		ハングル	2後	1			○			□	□	□	
		日本語Ⅰ	1前	1			○		留学生対象				
		日本語Ⅱ	1後	1			○		留学生対象				
		小計（6科目）	—	0	6	0	—		—				
	その他	単位認定A		1			○						
		単位認定B		1			○						
		小計（2科目）	—	0	2	0	—		—				
学部 専攻科目	コア科目	基礎演習A	1前	1			○		オムニバス				
		基礎演習B	1後	1			○		オムニバス				
		基礎演習C	2前	1			○		オムニバス				
		基礎演習D	2後	1			○		オムニバス				
		専門演習A	3前	1			○		オムニバス				
		専門演習B	3後	1			○		オムニバス				
		専門演習C	4前	1			○		オムニバス				
		専門演習D	4後	1			○						
		小計（8科目）	—	8	0	0	—		—				
	共通領域	教職入門	1前	2		○					○	○	
		教育心理学	1前	1			○			△	○	○	
		教育制度論	1後	2		○					○	○	
		教育原理	1後	2		○				○	○	○	
		教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	2前	2		○					○	○	
		教育課程総論	2後	2		○				△	○	○	
		特別支援教育論	2後	2		○					○	○	
		教育相談（カウンセリングを含む。）	3前	2		○					○	○	
		教育経営論	4前	2		○					○	○	
		ICT実践演習	4前	2			○						
		幼小連携	4後	2		○							
		教職実践演習（幼・小）	4後	2			○		オムニバス		○	○	
		こども生活学概論	1前	2		○							
		こども生活学Ⅰ	1後	2		○							
		こども生活学Ⅱ	3前	2		○							
		小計（15科目）	—	25	4	0	—		—				
	幼保領域	社会福祉	4後	2		○				○			
		子ども家庭福祉	4前	2		○				○			
		保育原理	1前	2		○				○			
		保育者論	1後	2		○				○			
		子ども家庭支援の心理学	4後	2		○				○			
		保育の心理学	1後	2		○				○			
		子どもの保健	1後	2		○				○			
		子どもの食と栄養	2後	2			○			○			
		子ども家庭支援論	2前	2		○				○			
		保育内容総論	3前	2			○			○			
		保育内容（健康）	1後	2			○			○	○		
		保育内容（人間関係）	2前	2			○			○	○		
		保育内容（環境）	2後	2			○			○	○		
		保育内容（言葉）	1前	2			○			○	○		
		保育内容（表現A）	2前	2			○			○	○		
		保育内容（表現B）	2後	2			○			△	○		
		保育内容（表現・演劇）	2前	2			○			△	○		
		幼児教育指導法	3後	2		○				△			
		乳児保育Ⅰ	1後	2		○				○			
		乳児保育Ⅱ	2前	1			○			○			
		子どもの健康と安全	3後	1			○			○			
		障害児保育	3前	2			○			○			
		社会的養護Ⅰ	2後	2		○				○			
		社会的養護Ⅱ	3前	1			○			○			
		子育て支援	3前	1			○			○			
		保育の計画と評価	2後	2		○				○			
		幼児理解	3後	2			○			○	○		
		こども文学	3後	2		○				△	○		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考	保育士	幼稚園 一種	小学校 一種	スポーツ ・ ラック ・ イン
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習					
専門科目	こども文化	4前		1			○			△			
		2前		1			○			○	○		
		2後		1			○			○	○		
		3後		1			○				○		
		3前		1			○				○		
		3後		1			○			○	○		
		1前		1			○		オムニバス	○	○		
		2前		1			○		オムニバス	○	○		
		3後		1			○		オムニバス	△	△		
		1前		1			○			○	○		
		4前		1			○			○	○		
	保育実践演習	4前		2			○		オムニバス	○			
	地域と子育て支援	3後		2		○				△			
	小計（41科目）	—	40	27	0		—		—				
	小学校領域	1後	2			○						○	
		3前		2		○						○	
		1後		2		○						○	
		3前		2		○						○	
		2後		2		○						○	
		3前		2		○						○	
		2後		2		○						○	
		3後		2		○						○	
		3前		2		○						○	
		2前	2			○						○	
		3後	2			○						○	
		1後	2			○						○	
		2後	2			○						○	
		1前	2			○						○	
		2前	2			○						○	
		1前	2			○						○	
		2前	2			○						○	
		1後	2			○						○	
		2後	2				○					○	
		2前	2				○					○	
		3後		1			○					△	
		2前	2				○					○	
		2後	2				○					○	
		2前	2				○					○	
		2後	2				○					○	
		1後	2				○					○	
		2後		1			○					△	
		4前		1			○					△	
		4前		1			○					○	
		4前		1			○					△	
		4前		1			○					△	
		3前	2			○						○	
		3後	2			○						○	
	小計（31科目）	—	34	22	0		—		—				
	実習（学外）領域	2後		2			○			○			
		2後		2				○		○			
		3前		2				○		○			
		3後		1			○			○			
		3後		2				○		▲			
		3後		2				○		▲			
		3後		1			○		オムニバス		○		
		3前		1			○		オムニバス			○	
		4前		4				○			○		
		3後		4				○				○	
		2後		1				○				○	
		2前		1				○	オムニバス				
		2後		1				○	オムニバス				
	小計（13科目）	—	0	24	0		—		—				
	ライフ開拓領域	1前		1			○						
		4後		1			○						
		1前		1			○		選択必修				
		1前		1			○						
		1後		1			○		選択必修				
		1後		1			○						
		2前		1			○		選択必修				
		2前		1			○						
		2後		1		○			オムニバス				
		2後		1		○			オムニバス				
		3前		1		○			オムニバス				
		3前		1		○			オムニバス				
		3後		1		○			オムニバス				
		3後		1		○			オムニバス				
		4前		1		○			オムニバス				
		4前		1		○			オムニバス				
	小計（16科目）	—	0	16	0		—		—				
	卒研	4前後		4			○						
	小計（1科目）	—	4	0	0		—		—				
合計（149科目）		—	123	115	0		—		—	△:6 □:2 ▲:2	△:1 □:2	△:5 □:2	